

あかしん

わが町、わが店、この道一筋、出逢いとコミュニケーション あかい新聞店ホームページ <http://www.akai-shinbunten.net> <発行所>あかい新聞店 武蔵店/知多郡武蔵町字金下37番地 電<0569>72-0356 寄贈店/津島市市場町4丁目167番地 電<0569>35-2861



株式会社 アールプス出版社

〒461-0004 名古屋市中区東一丁目15番18号

オフィスサナゴヤ 6F

TEL 052-931-1009 FAX 052-932-1312

<http://www.alpspublishing.co.jp/>

企画・制作：株式会社 新聞ビル



巻頭言

老春 戯言

ろうしゅんの
たわごと

No. 013

「子供たちに勉強を教えることは、
子供たちに人生の意味を教えることだ」

Victor Hugo(フランスの小説家)

親は自分たちの能力を忘れて子ども、とくに最初の
子どもにかけられる期待は高い。もちろん子が親を超
えて成長することもあるが、多くの場合、突然変異的なこ
とは起こらない。子どもの成長とともに目を見張ること
に驚かせられることはある。それは初めて見る光景だか
らだ。

子育てに方程式はない。有名大学の進学を求めて熱通
いさせる。それで希望校に入学できても人生の成功者ど
はならない。やはり人のため世のためになり、その仕事を
通じて本人が生きがいを見えない限り、物欲だけ満たさ
れても満足できないのが、人生というものだろう。

他人の真似をしてもうまくいくかどうか、わからないと
ころに子育ての難しさ、面白さがあるのだろう。

文 写真 岡田 清治(一九四二年生まれ)

FAX: 0569-34-7971

メール: hiromitsu@akai-shinbunten.net

読者の方々の感想、意見、コメント等を上記のFAXか
メールでお寄せください。一緒に考えます

おかだ せいじ
岡田 清治

ジャーナリスト (編集プロダクション・NET108代表)

著書に「高野山開創千二百年 いっぱいさん行状記」「心の遺言」

「あなたは社員の全能力を引き出せますか!」「リヨンで見た猫」など多数



私の出会った作品

(92) 杉本武之

◎柳田国男

先日、岡谷市一善 柳田国男の国書に筑摩書を就いた。30ほど前に読んだ本。興味深かった。本書は、著者が明治 30 年(1897)7 月 1 日、生誕地田村川上村で生まれた。父・柳田國太郎は、高等小学校を卒業した。病弱のため、父の学校に「山の先生」として通った。『山の先生』は、柳田国男の自伝的な小説で、山にちなみ、柳田国男の幼少時代が描かれている。著者は、山にちなみ、柳田国男の幼少時代が描かれている。著者は、山にちなみ、柳田国男の幼少時代が描かれている。



『柳田国男』

明治 30 年、長兄・龍太郎が、高等小学校を卒業した。病弱のため、父の学校に「山の先生」として通った。『山の先生』は、柳田国男の自伝的な小説で、山にちなみ、柳田国男の幼少時代が描かれている。著者は、山にちなみ、柳田国男の幼少時代が描かれている。

明治 30 年、長兄・龍太郎が、高等小学校を卒業した。病弱のため、父の学校に「山の先生」として通った。『山の先生』は、柳田国男の自伝的な小説で、山にちなみ、柳田国男の幼少時代が描かれている。著者は、山にちなみ、柳田国男の幼少時代が描かれている。

明治 30 年、長兄・龍太郎が、高等小学校を卒業した。病弱のため、父の学校に「山の先生」として通った。『山の先生』は、柳田国男の自伝的な小説で、山にちなみ、柳田国男の幼少時代が描かれている。著者は、山にちなみ、柳田国男の幼少時代が描かれている。

明治 30 年、長兄・龍太郎が、高等小学校を卒業した。病弱のため、父の学校に「山の先生」として通った。『山の先生』は、柳田国男の自伝的な小説で、山にちなみ、柳田国男の幼少時代が描かれている。著者は、山にちなみ、柳田国男の幼少時代が描かれている。

明治 30 年、長兄・龍太郎が、高等小学校を卒業した。病弱のため、父の学校に「山の先生」として通った。『山の先生』は、柳田国男の自伝的な小説で、山にちなみ、柳田国男の幼少時代が描かれている。著者は、山にちなみ、柳田国男の幼少時代が描かれている。

明治 30 年、長兄・龍太郎が、高等小学校を卒業した。病弱のため、父の学校に「山の先生」として通った。『山の先生』は、柳田国男の自伝的な小説で、山にちなみ、柳田国男の幼少時代が描かれている。著者は、山にちなみ、柳田国男の幼少時代が描かれている。

明治 30 年、長兄・龍太郎が、高等小学校を卒業した。病弱のため、父の学校に「山の先生」として通った。『山の先生』は、柳田国男の自伝的な小説で、山にちなみ、柳田国男の幼少時代が描かれている。著者は、山にちなみ、柳田国男の幼少時代が描かれている。

明治 30 年、長兄・龍太郎が、高等小学校を卒業した。病弱のため、父の学校に「山の先生」として通った。『山の先生』は、柳田国男の自伝的な小説で、山にちなみ、柳田国男の幼少時代が描かれている。著者は、山にちなみ、柳田国男の幼少時代が描かれている。

明治 30 年、長兄・龍太郎が、高等小学校を卒業した。病弱のため、父の学校に「山の先生」として通った。『山の先生』は、柳田国男の自伝的な小説で、山にちなみ、柳田国男の幼少時代が描かれている。著者は、山にちなみ、柳田国男の幼少時代が描かれている。

昭和 52 年、常滑小学校 3 年 組(35) 氏原朝信
「この指とまれ」
2 月 5 日(木) 常滑市
2 月 10 日(土) 常滑市
2 月 15 日(木) 常滑市
2 月 20 日(土) 常滑市
2 月 25 日(木) 常滑市
2 月 30 日(土) 常滑市
2 月 31 日(日) 常滑市

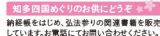
「だんが、いっばい」
3 月 1 日(日) 常滑市
3 月 5 日(木) 常滑市
3 月 10 日(土) 常滑市
3 月 15 日(木) 常滑市
3 月 20 日(土) 常滑市
3 月 25 日(木) 常滑市
3 月 30 日(土) 常滑市

大変だ！
2 月 1 日(日) 常滑市
2 月 5 日(木) 常滑市
2 月 10 日(土) 常滑市
2 月 15 日(木) 常滑市
2 月 20 日(土) 常滑市
2 月 25 日(木) 常滑市
2 月 30 日(土) 常滑市

常滑市立文化会館
常滑市立文化会館
常滑市立文化会館
常滑市立文化会館
常滑市立文化会館
常滑市立文化会館
常滑市立文化会館

く	赤	ん	我
働	ち	ち	が
く	や	や	家
子	ん	娘	に
で	の	が	は
、	時	居	2
そ	か	ま	歳
の	ら	す	の
活	よ	。	や

1944年、愛媛県新居浜市生まれ。中央大学法学部卒業後、朝日新聞入社。鳥取・大分県支局長、企画部長を経て総務部長。文化ジャーナリスト・ジャーナル編集・研究開発部の会長員・平山和夫美術館館長のコーディネーター。朝日新聞社シニアライター、朝日120周年記念プロジェクト「シルクロード三蔵法師の道」の中心的役割を担う。著書に『シルクロードの現代日本人列伝』『幻の創作ノート「太陽はのぼる」新居浜人、大来彌人の精神』『新居浜のまちを歩く旅』、あなとへ「共に生きる」ことの意味!（以上、三浦雅也）「鎌倉のふもと（稲垣順子）から江戸のふもとへ」『江戸のふもとへ』（以上、東方出版）など多数。



勤務地
連絡先

0569-35-2861
(担当 赤井)

常滑市保示町 1 丁目 2-4